

バスの乗車マナーの啓発について

1 テーマ 「車内安全と乗車マナー」

2 目的

- (1) バスの車内安全の確保
- (2) ゆずりあいによる快適性の向上

3 背景

- (1) バスの乗車マナーは、人により受け止め方が異なり、受け止め方の違いが、トラブルや車内事故の原因にもなりうる
 - ① 「優先席」を「専用席」と思い込み、空席であっても座らない・座らせない
→立席乗車は事故の原因となるため、運転手から見ると不安要素となる
 - ② 他の乗客に気を遣い「早く降りる」ために、バス停での停車前に席を立つ
→停車時のブレーキで転倒しけがをする可能性がある
 - ③ 両替などのために、走行中の車内を立ち歩く方を見かける
- (2) 車内事故により、運転手が免許停止などの行政処分を受ける可能性がある。運転手不足の中、バスの運行に支障をきたす原因になりかねない
- (3) バス事業者も車内放送などでマナー向上の呼びかけはしているが、呼びかけられた方の思い描くマナーと違いがある場合には苦情のもととなる。

4 取り組み方針

- (1) 本年度は、下記のマナーについて周知を図る
 - ① 優先席が空席の際の利用方法の提示
 - ・車内事故防止のため、空席があれば座るよう呼びかける
 - ・優先席が必要な人が乗車したら、速やかに席を譲る
 - ② バス停到着時には、完全に停車するまで席を立たない
 - ・転倒の防止

5 取り組み方法

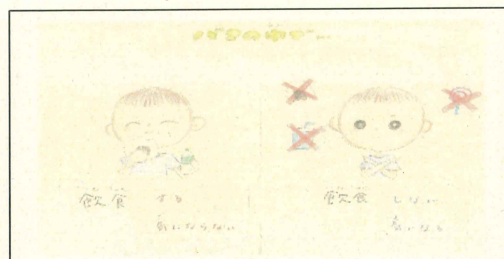
- (1) バスマつりにおいて、上記の取り組み方針について意識調査を行う。
 - ① 優先席に座ることについての考え方
- (2) あわせて、取り組み方針について背景を含めて周知を図る。
- (3) 意識調査や説明時の反応を踏まえ、周知方法・内容を検討する。

「バスの乗車マナー」及び「車内安全」に関するアンケート結果

1 バスまつり会場でのアンケート

Q 1 バスの中で飲食（回答数 7 9）

飲食する	7 (8.9%)
<u>飲食しない</u>	<u>7 2 (91.1%)</u>



Q 2 バスの中で周りが飲食（回答数 4 8）

飲食が気にならない	1 9 (39.6%)
<u>飲食が気になる</u>	<u>2 9 (60.4%)</u>



Q 3 バスの中でリュック（回答数 9 2）

<u>抱える</u>	<u>7 1 (77.2%)</u>
背負う	2 1 (22.8%)



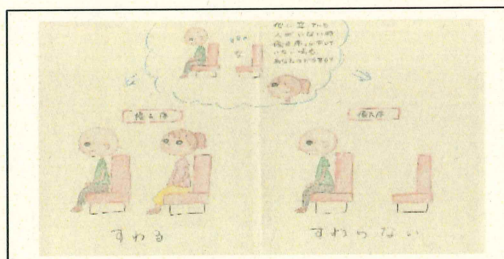
Q 4 バスの中で携帯電話、どこまでOK？ （回答数 7 6）

電源OFF	1 0 (13.16%)
<u>マナーモード</u>	<u>6 2 (81.58%)</u>
着信音、ゲーム音	2 (0.03%)
通話	2 (0.03%)

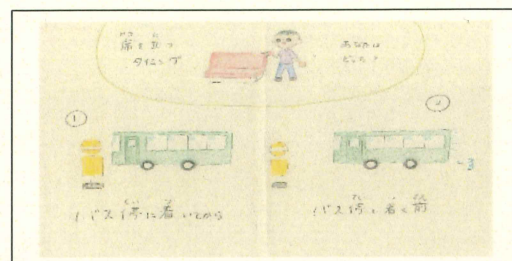
2 環境フェスティバル会場でのアンケート

Q 1 他に立っている人がいないとき、優先席 しか空いていない（回答数 1 5 9）

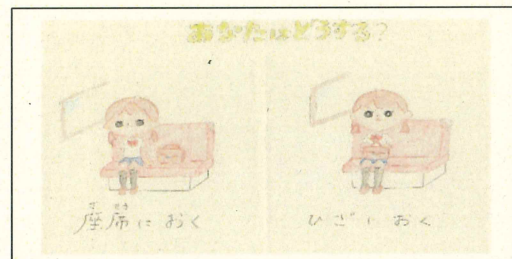
すわる	4 7 (30.8%)
<u>すわらない</u>	<u>1 1 0 (69.2%)</u>



Q 2	席を立つタイミング (回答数 1 6 1)	
	<u>バス停に着いてから</u>	<u>1 4 1 (87.58%)</u>
	着く前	1 9 (11.80%)
	どちらでもない	1 (0.02%)



Q 3	バスの中で荷物をどうする (回答数 1 6 2)	
	座席におく	2 1 (13.0%)
	<u>ひざにおく</u>	<u>1 4 1 (87.0%)</u>
	どちらでもない	0 (0.0%)



今後の取り組みについて（案）

- 1 趣旨 「松江市公共交通利用促進市民会議」では、これまで、路線バスの「車内安全の確保」「乗車マナーの向上」に向けた取り組みについて検討してきた。

市民会議では、路線バスの安全な運行及び高齢者をはじめとする乗客の安全確保、また、バス運転手の負担軽減を図るため、まずは、車内事故防止につながる啓発活動に取り組む。

2 内容

路線バス（乗合バス）における車内事故は、発進時や交通状況に応じて急停止等を行う際に発生することが多い。

その予防策として、

- （1）空席があれば座るように呼びかけ
- （2）優先席の積極的な利用呼びかけ
（ただし、優先席が必要な人が乗車したら、速やかに席をゆずる）
- （3）バス停到着時には、バスが完全に停車するまで席を立たない

などを周知する。

3 取り組みの方法

周知方法は、バス事業者と協議の上、決定・実施する。

（取り組みの例）

- ・ バス車内への掲示（窓へのシール等）
- ・ 車内放送
- ・ その他（ホームページ、主要バス停へのチラシ掲示等）